



がまチヨコ



蒲生地区まちづくり協議会 チョットニュース <https://www.gamoyume.org>

発行者：東近江市 蒲生地区まちづくり協議会・広報企画委員会 住所：東近江市市子川原町461-1・蒲生コミュニティセンター内 TEL / FAX：0748-55-3030

古民家改修で新たな活動を

一般社団法人がもう夢工房は、公益財団法人東近江三方よし基金から借り受けた蒲生岡本町の旧岡村恵次郎様宅（元堀井謄写堂の役員宅、以後「岡村邸」）を、今後の活動拠点のひとつとして活用できる様、休眠預金等活用法（2018年1月施行）による助成金により、第二期の改修工事を昨年12月に完了しました。

岡村邸は昭和8年に建設された旧宅で、拠点として活用するには改修が必須の状態でした。今回は、1階の4間を全て畳から床材に張替えて空調機を設置し、厨房設備の新調、外部壁面、雨戸の補修等を行ないました。整備したい部分はまだまだ

ありますが、これらの改修で、部分的な利用は可能です。

今後の活用としては、ガリ版伝承館との連携でガリ版体験講座、近江商人の精神を学ぶ企業研修等の自主事業に利用。また、何らかの理由で学校に行きづらい子どもたちの活動場所（フリースペース）としての利用、

さらに将来は都市部の中高生が田舎生活を体験する農泊等にも利用できるなどと考えています。

そしてもちろん、一般の皆様

の諸活動に利用していただく貸し館的な利用も考えています。新しい居場所としての岡村邸に注目ください。



【(一社)がもう夢工房】

二十歳のつどい・謝恩会

蒲生地区では、実行委員会形式で「二十歳のつどい・謝恩会」が1月9日に開催されました。コロナ感染症第6波が始まる兆候がありましたが、つどい参加者151名、小中学校の恩師や団体代表者12名が参加され、十分な感染症対策をとられたため、一人の感染者を出すことなく、晴れやかなつどいとなりました。つどいでは、恩師や代表者を交えた談笑とゲームが行われ、何度も何度も記念の写真撮影をされていました。

次年度も二十歳のつどい実行委員会主催、蒲生地区まちづくり協議会共催、朝桜中学校同窓会後援の仕組みで東近江市成人式の後に開催する予定です。来年こそマスクを外し、互いに立派になった顔を近づけてのつどいとなることを祈念します。



【二十歳のつどい実行委員会】

CO-GAMO CAFE

コガモ通信

CO-GAMO MARCHÉ

ランチ&スイーツ
(コガモカフェ・メニュー)

- ★和牛すき焼き定食:1,200円
- ★豚の佐久良川みそ焼き:800円
- ★コガモ ランチ:700円
- ★オムライストマトカレー:800円

◆お弁当のご注文、少数より承ります。

●営業時間/10:00~14:30 ●定休日/水・木曜日

日曜野菜市 (コガモマルシェ)

毎週日曜日の朝は、安心の蒲生産=新鮮野菜市から始まる!

●営業時間/9:30~13:00

全てのお問い合わせ先：●東近江市桜川西町281-1 **0748-56-1395**

百人一首かるた大会

新春恒例の「蒲生地区百人一首かるた大会」が1月10日に蒲生コミュニティセンターで開催されました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大の為中止となり、2年ぶりのこの大会は46回目を迎えました。

例年は団体戦・個人戦、五色かるた、坊主めくりの競技があり賑わうのですが、今年は新型コロナウイルス対策で個人戦のみで行われ、小中学生3人に絞り、白熱した対戦が繰り広げられました。

読み手の石岡昌一さんは下麻生町在住で、いつも張りのある声で百人一首を読んでいただいておりますが、今年で勇退されます。初めの挨拶では、地元『山部神社・赤人寺』で生涯を閉じた山部赤人の『田子の浦に うち出でて見れば 白妙の 富士の高嶺に 雪は降りつつ』の歌を読んでくださいました。読み手を引き受けたのは、ゆかりあるこの歌が理由と今回伺いました。石岡さん長い間ありがとうございました。

これからも百人一首かるた大会を大切に続けて、子ども達に伝えていきたいと思っております。



【蒲生地区子ども会連合会】

「野謙記 ⑪」

2月の短歌

- ・ピーヒョロロ、私は鳶(とんび)だ。青い冬空のさみしさに居る (昭13)
- ・季節の感覚を表さうとして、ふかい冬空に竹の葉が色づく (昭13)
- ・沼底の枯藻に、ひっそりと冬日が浸透して月夜の様な水のあかるさ (昭14)
- ・凍土がゆるんで麥の芽が身をゆすぶった、冬の太陽をまぶしく見上げた (昭15)
- ・冬日のかけひっそり背中に感じ、ちっと水底にゐる (昭15)
- ・凍土に坐って何かうれしい、心一途になり黒々と素描する (昭16)
- ・田道の雪をふんできた和尚さん、今年の梶子(くちなし)は朱いといふ (昭16)
- ・戦友の骨箱を首にかけて突入した兵士、声立てて泣いたといふ (昭17)
- ・凍雪に雨ふり烟(けむ)るしづけさに、吾心のみ赤々と燃ゆ (昭18)
- ・吾なすこと大さきありと自らに思はしめ、眠らんとすれど心淋しき (昭18)

【注釈】

日記には約6年間の間に2,600首におよぶ短歌を書き綴っている。昭和13年～17年までは、前田夕暮(明治～昭和を代表する歌人、石塔極楽寺和尚・米田雄郎の師)が提唱した自由律で作歌している。昭和18年からは夕暮の動きに歩調を合わせて、定型(五・七・五・七・七)で作られている。

東近江市市民活動推進交流会

わくわくこらぼ村

今年のテーマは『キラキラのいっぽ』子ども達に初めての体験やイベントを通して「初めの一歩」を感じてもらえる内容です。

開催日時：3月5日(土)・6日(日)
午前9:00～午後3:00

開催場所：旧八日市保健センター及び
八日市図書館

内容：ワークショップ、展示等

【東近江市市民活動推進交流会実行委員会】

ぶらい 近江鉄道 シリーズ ガチャコンに乗って

(新八日市駅編)

八日市駅で乗り換え、一駅で到着。大正11(1922)年建築と言うことは今年で築100年。駅舎はレトロそのもの。電車から降り立ったこの景色が一瞬、子どもの頃の鉄道駅の改札口風景を思い出させる。玄関の軒の飾りもどことなく洋風感があり、観光スポットとしても注目を集めそう。大事にしていきたい。



蒲生地区まちづくり協議会(広報企画委員会)



「凍る朝」(30号・昭和16年)

本作品制作中に「しゅうじゃう(※)と凍る朝 白い空に鮮紅の日輪ぼつりとある」と詠んでいる。
※しゅうじゃう【蕭条】ひっそりとももの寂しいさま

蒲生地区まちづくり協議会
(万葉ロマンの里づくり部会)

新型コロナウイルスと共に暮らす

～正しく恐れよう～

新型コロナウイルス感染症の変異株「オミクロン株」が急拡大しています。滋賀県も多くの方の感染が確認されています。今までの変異株よりも、感染力が強いので、誰が感染してもおかしくない状況です。もし、家族が新型コロナウイルスに感染したら、注意したいことをまとめました。ぜひ、ご参考にしてください。



1. 部屋を分ける
部屋を分けられない場合は、2m以上の距離を保ったり、仕切りやカーテンの設置をしたりしてください。
2. 窓を開けて換気
共有スペースや他の部屋も窓を開けっぱなしにするなど換気しましょう。
3. マスクを着用
4. こまめな手洗い、手で触れる部分を消毒
5. 汚れたリネン・洋服を洗濯
汚れた衣服やリネンは、手袋とマスクを着用し、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かしてください。
6. ゴミは密閉して捨てましょう
鼻をかんだティッシュ等は、すぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは、密閉して捨ててください。手洗いも忘れずに。

蒲生地区まちづくり協議会
(広報企画委員会)

マックスクラブ(わくわくチャレンジ隊)



近畿「子どもの水辺」交流会 in 奈良に参加!



近畿(滋賀、京都、兵庫、大阪、奈良)の子ども達がオンラインで、身近な水辺での体験を発表、交流する催しに1月22日(日)、蒲生野考現倶楽部・わくわくチャレンジ隊も参加。テーマは日野川たんけん・水の命の宝物探し!で、源流・上流・中流編などをグループのトップバッターで、5人の代表者は少し緊張気味でしたが元気に発表してくれました。その後、参加者から質問や感想が飛び交い、他のグループからも興味深いテーマや共通する課題も出てきました。

最後に、参加の9団体から10年後の水辺に望むべき姿として、「生き物が沢山すめる川や水辺」そして、今出来ることは「周りの人に知ってもらう」でまとめられました。

わいが屋@せせらぎで楽しいひと時を♪

気軽に立ち寄って、ワイワイガヤガヤ思い思いに過ごせる“みんなの拠り所”『わいが屋@せせらぎ』。蒲生地区のみなさんの「できる」や「得意」を活かした楽しい企画を考えています。

今回は、日本おりがみ協会認定講師の寺島春三さんによる『楽しくおりがみを折ろう♪』です。皆さん、色んなおりがみを折りましょう♪

10:00~11:30

3/18 (金) おもちゃ図書館

13:30~15:00

『楽しくおりがみを折ろう♪』

コーヒー
100円



場所
問合せ

東近江市社会福祉協議会 蒲生事務所せせらぎ
東近江市市子川原町 676-1

☎ 0748-55-4895 IP 050-5802-2528

再
発
見

連
載

がもうの話

蒲生地区まちづくり協議会
(万葉ロマンの里づくり部会)

104

石塔寺(その2) 白洲正子・司馬遼太郎が見た石塔寺

著名な文化人・文学者も石塔寺を訪れて、その紀行文などを残している。古典文学、工芸、骨董、自然などについて多くの随筆を書いた白洲正子さん(1910~1998)は、『かくれ里』(1971年、新潮社。『藝術新潮』1969年8月号初出)の中で、「(石塔寺の塔を見て)私ははじめて石の美しさを知った」と書いている。「朝鮮にも、似たような塔はあるが、味といい、姿といい、これは日本のものとしかいいようがなく、歴史や風土が人間に及ぼす影響を今さらのように痛感した」と続けている。

作家の司馬遼太郎さん(1923~1996)は、『文藝春秋』に連載する「歴史を紀行する」の取材のために1967~68(昭和42~43)年頃に石塔

寺を訪れた。この連載は、日本各地の風土を題材に帰化人(渡来人)の文化を見ている。

「最後の石段をのぼりきったとき、眼前にひろがった風景のあやしさについては、私は生涯わすれることができないだろう」と記し、続けて石塔寺三重石塔と古代朝鮮との繋がりを語っている。



長蝦里三層石塔(大韓民国)

FM815 Radio Sweet (FMラジオ・81.5MHzで ON AIR !)

蒲生地区まちづくり協議会 情報番組

Happy Gamo

毎月第2土曜日 午前 11:00~11:30

3月の放送は、Radio Sweet
機器入替の為休みです。

■蒲生地区の人口

(令和4年2月1日現在)

人口 : 14,364人 (-24)
男性 : 7,094人 (-11)
女性 : 7,270人 (-13)
世帯数 : 5,386 (-6)
※ () 内は前月比

第22回あかね年賀状展



蒲生地区はガリ版の聖地です。ガリ版文化の伝承を目的に、手作り年賀状による「あかね年賀状展」を、1月15日(土)から31日(月)まで、蒲生コミュニティセンターのエントランスにおいて開催しました。

蒲生地区内の各小・中学校では年賀状作りに取り組んでいただき、多くの児童・生徒さんの作品を出展していただきました。また、ガリ版年賀状づくり教室参加者や孔版画愛好家からも多数出品あり、一般の方々からの出展も含め、751点の力作がそろいました。

ガリ版をはじめとする手作りの年賀状のおもしろさや温もり、作品に込められた作者の気持ちが感じられる展示となりました。



【蒲生コミュニティセンター】

蒲生コミュニティセンター
3月のお知らせ

- ★3月6日(日)★
【予定】マックスクラブ発表会 午前中
展示及び舞台発表
子どもたちが1年間頑張ってきた発表の場!!
 - ★3月16日(水)★
わいわいサロン 10時~11時半
地域のみなさんと楽しいひと時を過ごしませんか♪ ※要申込み
 - ★3月18日(金)★
あかねふるさと塾(塾生対象)
笑うシニアに福来る
~みんなで笑って介護予防~
- ※中止・延期の場合がございます。
開催有無ご確認の上、会場へお越しください
◆蒲生コミュニティセンター
0748-55-0207

ひろばだより **蒲生子育て支援センター**
 場所：東近江市市子川原町 676
 TEL：0748-55-4889
 IP：050-5802-9361

蒲生子育て支援センターは蒲生支所の3階にあります。未就園のお子さんとお家の方が一緒に過ごす場所です。たくさんのおもちゃがあり、親子で楽しんでいます。また、日々の情報交換もしています。ぜひ、遊びに来てください。

楽しい手あそび

子ども達は、お家の方のお膝の上と一緒に!



お絵かきコーナー

今日はどの色でかこうかな?



赤ちゃんコーナー

毎月、赤ちゃん広場があり1歳未満の赤ちゃんの身長・体重を計測して、日々の困りごとを相談できます。

お砂場まるちゃん

サラサラと砂をさわって楽しみましょう。

蒲生まち協会員は、蒲生地区に住んでいる一人ひとりが会員です。



HPのQRコード

がまチョコに皆様のご意見・ご感想をお寄せ下さい。

Email: gamomachikyo@e-omi.ne.jp TEL/FAX: 0748-55-3030

←がまチョコのバックナンバーも見られます。

蒲生地区まちづくり協議会 (広報企画委員会)